

## 長野を高齢者のユートピアに

### ＜移住に関する各種アンケートで長野県は1位「終の棲家」としての長野＞

- 東京の待機高齢者の受け入れ。
- 猪瀬都知事との連携、都、区の資金で特養を作る。後町小跡地等なるべく市街地に。
- 長野県（長野市）は土地の提供。
- 東京・長野間を週末に区、市の補助で特養入居者の為に専用バスを運行し家族と交流。
- 高齢者の為のニュータウン（村山、柳原地区）
  - ・長野の銀行も相続で大口資金が県外に流出している事を危惧（在住高齢者向資金、東京スター銀行）
  - ・PFI、PPP、民間の資金活用
  - ・住宅エリア（エコ）・・・高齢者向けの高機能住宅。
  - ・医療モール・・・医者も開業資金が少額でクリニック経営の早期安定が見込める。  
(薬局入居、介護会社)
  - ・公共エリア（銀行や各種公共サービス）
  - ・菜園エリア・・・住民に区分して賃貸。
  - ・運動、レジャー施設
  - ・市街地行きバス（ぐるりん号）
  - ・その他の施設

## 世界健康産業博の開催

- 長野を長寿健康県として世界にアピール
- 長野を世界の健康長寿リゾートとして（自然と健康）
- 関連産業の誘致。  
(医療機械メーカー、サプリー等の健康食材企業、老人医療施設、予防施設)

### ＜高齢者の住み良い長野・・・人口増＞

### ＜それを支える若者人口増・・・新しい産業＞

## 精密産業長野から健康産業長野へ